

SVT仕様のライトニングは、安価で俊足がウレ!!

とにかくこのクルマは、お気に入りなんだ!! 開口一番、笑顔でセルジオ氏は応えてくれた。

各種、電気・電子機器用トランスを作るメーカー、マキユリー・マグネティックスの代表であるセルジオ氏。音響機器への使用が多く見られるが、特にギターアンプなどに関しては、エリッククラブトンやヴァンヘーレンなど超有名アーティスト達



sergio

からも多大な支持を得ているという。

フォードF150ライトニングは、水冷インタークーラー付き・スーパーチャージャー搭載の5・4ℓV8エンジン。オーバーヘッドコンソール内のスイッチ一つで、瞬時にスポーツモードとノーマルモードの変換が可能という秘密兵器を備えている。スポーツモードは最高出力525HPを発揮し、ノーマルモードはメーカーセッティングそのままという2ステージ・コンピューターだ。

その俊足ぶりや、車両の作りの割には安価で、パイパーやコルベットと比べると、速さに対する割安感が非常に高いし、大きき的にも丁度良い。ガレージの中で周りを歩き回れるくらいのスペースが確保できる。

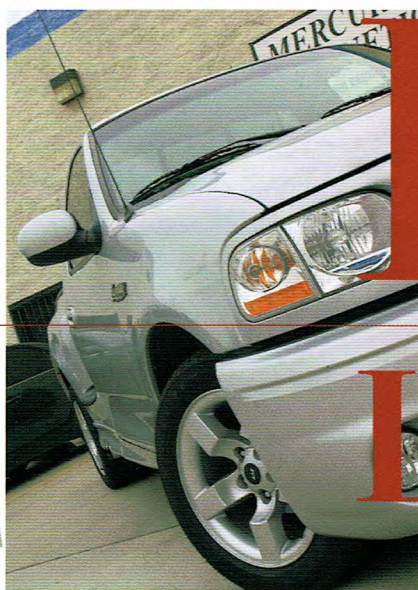
唯一セルジオ氏の気に入らないところは、エンブレムの作りが安っぽく、クルマのデザインと合っていない点。購入時に、組み立て工程で、取り付けないでくれと頼んだが、それは出来ないと、断られてしまった「とさ」



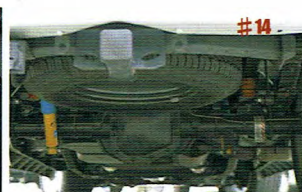
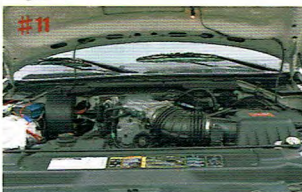
#1 フロントビューは、スッキリしたデザインで通常のF150を踏襲している。#2 使い勝手の良いリヤゲートにノーマルバンパーのリヤビュー。#3 曲線を基調としたデザインと、サイドスカート等のボディパーツの組み合わせが絶妙。#4 テールレンズは、流行のユーロテール。#5 右サイド出しデュアルマフラーが俊足の証。#6 スライド式のリヤウインドー。#7 ステップサイドの曲線のくぼみに足かけ用のステップを装着。#8 トノカバーは、アメリカでは当たり前!? #9 SVT仕様のフロントバンパーのフォグが精悍さを増す。#10 セキュリティーとして暗唱番号式のドアロックを標準装備している。



SVTの特別仕様ホイールに、イーグルF1のマッチング。コレが525馬力の走りを支える。



one's favorite LUXY Life Style.



#11 5.4ℓ V8のエンジンは、スポーツモードで最高出力525Hpを発揮する。#12 水冷インタークーラー付きスーパーチャージャーを搭載。#13 セルジオ氏の自社で現在開発中の8チャンネルイグニッションシステムが取り付いている。#14 足回りにビルシュタインを装着し、走行性を向上。#15 特別仕様の車両を作るチームがSVT。所々にSVTのレタリングを見ることができる。#16 インパネは操作性を考慮した配置だ。#17 オートシートのドライバーズシート。#18 ホワイトメーターは140マイル表示だ。#19 & #20 オーバーヘッドコンソール内のスイッチ一つで、瞬時にスポーツモードとノーマルモードの変換が可能である。



アメリカで3番目に早いクルマだからコレにしたんだ!

速い。その俊足ぶりは、ダッジ・バイパーやシェビー・コルベットに次ぐもので、トラックとしては最速のフォード・F150ライトニング。音楽業界に精通する会社オーナーであるセルジオ氏曰く、車も丁度良いし、特別仕様だけあって造りは絶品。まさに僕のone's favoriteだと…。

セルジオ / selgio

FORD F150 LIGHTNING

